

# 新しくなったTBアーカイブ委員会と 現在までの活動について

結核予防会代表理事

TBアーカイブ委員会委員長 石川 信克

結核予防会は、結核と結核対策に関する貴重な歴史的資料や文化的資産を収集・管理し、展示・公開するため保健医療関係者や一般国民の結核に関する教育・啓発・研究に寄与し、結核の制圧や国民の健康づくりに役立てようとするものです。平成11年（2009年）、TBアーカイブを設置しました。

現在は、主に戦前、戦中、戦後のやや古い資料が中心ですが、時代の変遷とともに常に新しい歴史が生まれるところから、この事業には終わりが無いものです。また、世界の結核の現状からみても、世界的な視野で展開してゆく意義もあります。

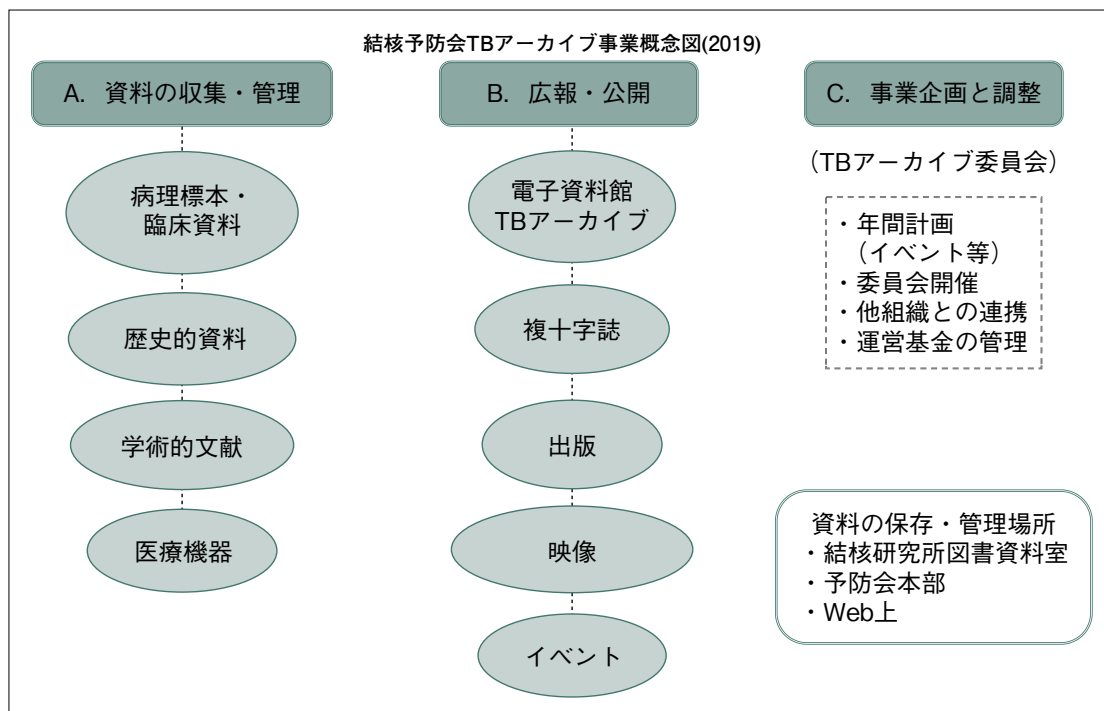
戦後の日本が達成してきた結核減少の歩みは、多くの途上国にも紹介できる資料に富んでいます。現在までの活動や収集された資料の一部に関しては、複十字誌やネット上の資料室に公開されてきました。運営・管理は、TBアーカイブ委員会の下で行われてきましたが、令和元年5月に、委員や内規等が改変され、委員会が新しく発足しましたので、その内容とこれまでの活動や資料についてまとめてみます。また、呼称としては、従来TBアーカイヴ、アーカイブス等が用い

られてきましたが、TBアーカイブに統一しました。

## 新しくなった委員会

＜委員会の構成＞ 令和元年5月、委員長であった島尾忠男先生の退任に伴い、石川が委員長を引き継ぎました。副委員長は加藤誠也結核研究所長、委員としては本部役員諸氏に加えて、岩井和郎、森亨両研究所名誉所長、慶長直人研究所副所長、岡輝明複十字病院診療主幹、婦人会関係は山下武子氏が就任、外部委員としては、青木純一日本女子体育大教授、渡部幹夫順天堂大学非常勤講師、福田眞人名古屋外語大教授、森孝之北里研究所北里柴三郎記念室次長らに委嘱しました。事務局としては、本部総務部、結核研究所事務部が担当、吉田達也審議役が事務局長、研究所図書資料室の佐藤和美氏が資料の管理等の業務を担当します。

＜委員会内規の一部変更＞ 従来のTBアーカイヴ事業推進・運営委員会をTBアーカイブ委員会とし、委員会は、最低年一回は開催し、年間計画、実施、予算執行、その他の協議を行うこと、必要に応じて外部委員を交えた会を招集することとしました。またTBアー



カイク基金の運営も行います。

## これまでのアーカイブ事業

TBアーカイブ事業の概念図は、図の通りで、既に膨大な資料等が収集され、一部は出版、公開、展示されています。事業をA.資料の収集・管理、B.広報・公開、C.事業の企画・調整に分けて、内容の概観を以下に示します。

### A. 資料の収集・管理：

1. 病理標本・臨床資料：化学療法前の結核病巣を含むホルマリン漬け標本等（主に第3代結核研究所長の岡治道、第4代所長隈部英雄先生らが研究資料として旧東京市中野療養所から戦前に持ち込まれ寄贈された160余の臓器標本）
2. 歴史的資料：結核に関する切手、シール、絵葉書、紙芝居、ポスター・パネル等
3. 学術的文献：歴史的書籍や文献（コッホの初期の論文等）
4. 映像(DVD)：歴史的な結核に関する映画等（戦前、戦後の歴史的映像のほか、結核予防会75周年記念として作成された「映像で振り返る結核対策公衆衛生の歴史」、「結核制圧を目指して—結核対策の現状と課題」2015年は予防会のホームページ上に掲載）
5. 医療機器：気胸器、旧式顕微鏡等

### B. 広報・公開：

1. TBアーカイブ：結核予防会ホームページ電子資料室内  
<https://www.jatahq.org/headquarters/document/tb-archive>
2. 複十字誌：アーカイブ関連の活動報告、ゆかりの地訪問記、創立70周年記念記事
3. 出版：最近のものとしては、上記の臓器をもとにした「図説 結核の病理（岩井和郎著）2014年」、「証言で綴る結核対策 公衆衛生の歴史」2016年、等
4. イベント：結核の歴史展（清瀬）、講演会

### C. 事業の企画・調整

1. 年間計画、委員会開催
2. 活動記録・報告
3. 他組織との連携（北里研究所、長崎大熱帯医学研究所等の研究機関、野口英世記念館等）

4. TBアーカイブ運営基金の管理（元結核予防会医師であった浅羽陽医師夫人のご遺贈金を運営基金にしているが、今後も趣旨に賛同する個人・団体からの寄付を仰ぐ）
5. その他、愛知県の博物館明治村における結核予防展示の更新

特に映像DVDに加え、複十字誌での記事、最近の出版物等は上記のWeb上で見ることができます。資料の保存・管理場所としては、結核研究所図書資料室および結核予防会本部総務部（一部はホームページ）

これらの中で歴史的に価値のあるものや興味深い資料について、次回から順次紹介してゆく予定です。また、結核に関する歴史的資料、書籍、機器、教材、ポスターなど、購入したもの、旧結核療養所や各界から寄附されたものもあり、今後も収集してゆく方向です。

## K氏よりの写真寄贈

最近、都内に住むK氏が予防会本部に来訪され、ご尊父が昭和35年頃結核予防会保生園（現在の新山の手病院）に入院していた時に撮った写真100点以上を寄贈されました。昔の療養所の建物や入院患者の療養生活、村山貯水池や周囲の景色、西武園などの様子も分かる貴重な写真の数々で、早速TBアーカイブに加えさせて頂きました。ご尊父は36歳で発病、保生園で両肺の手術を受けられて回復、60歳で亡くなられたそうです。

今後のアーカイブのあり方や企画に関する自由なご意見を歓迎します。🐼



退院患者をお祝いして玄関で送り出す（K氏寄贈の写真）



病室内で将棋やトランプに興じる様子（K氏寄贈の写真）